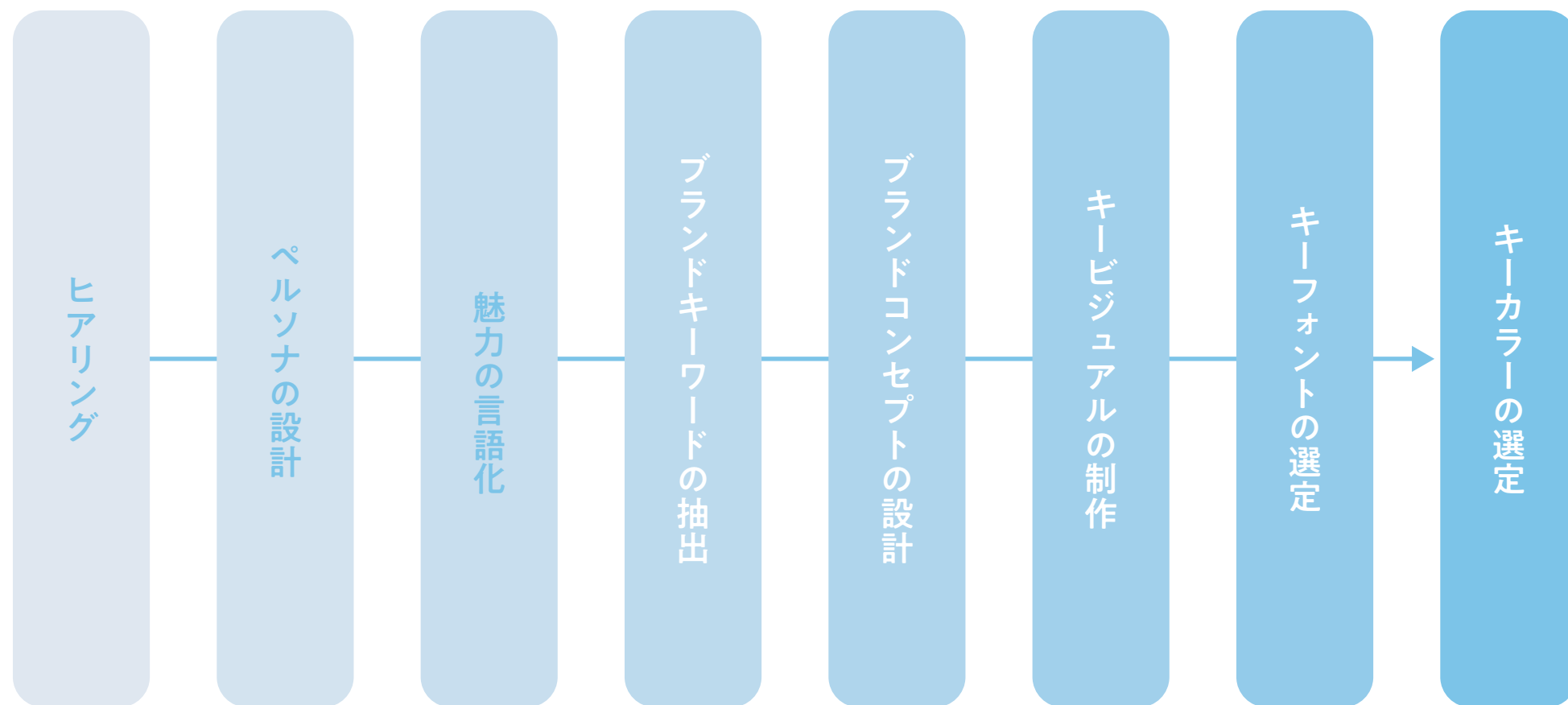


島本町デザイン計画

DESIGN PLAN

- 01 デザイン計画の全体像
- 02 ペルソナ設計
- 03 魅力の言語化
- 04 ブランドキーワードの抽出
- 05 ブランドコンセプト
- 06 キービジュアル
- 07 キーフォント
- 08 キーカラー
- 09 ムードボード



現状把握

価値／魅力の整理

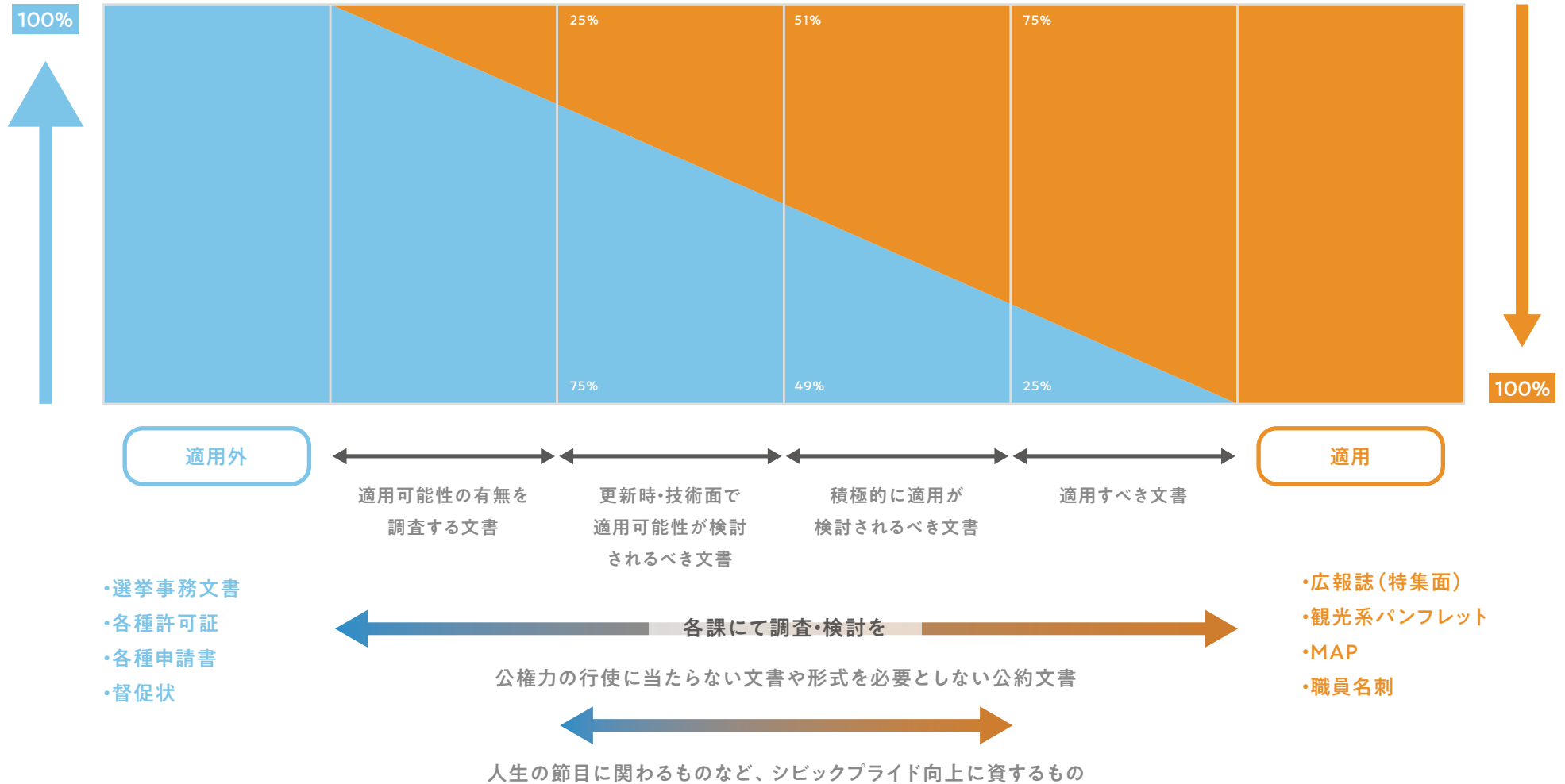
らしさの表現

法定事務文書

(法令で定められた定形業務に基づく文書類)

政策啓発文書

(地域のブランド醸成・イメージ形成に資する意図が含まれている文書類)



人物のイメージ写真



属性情報

堀口みさこ (34歳)

居住地：横浜から出身地の京都に引っ越してきた、Uターン組。

職業：イラストレーター

年収：会社員(400万) / 世帯年収(850万)

出身地：京都生まれ(10歳まで島本町に住んでいた)

家族構成：結婚2年目。夫と猫と暮らしている。

現在、妊娠しており子供と暮らす新居を探している。

人物の特徴

活動範囲： 会社が自宅でリモートワーク。自炊がほとんど。外食はあまりしないが、喫茶店には詳しい。

趣味： 環境・身体に良いものが好き。自分なりのこだわりや世界観を大事にしている。

性格： 性格は穏やか。お酒は好きだが、適量を楽しむ飲み方。

ライフスタイル： 元々広告代理店の営業でバリバリ仕事をしてきたが、自分と夫とこれからの家族のためにQOLの高い落ち着いた暮らしをしたいと思い、自分の興味に近い仕事に転職した。

ライフステージ： フリーカメラマンの夫(33歳)と暮らしている。少し生活に余裕が出てきたので、落ち着いた場所で子どもを育てたい。

情報収集： Instagramを主に使用し、コーヒー、本、インテリア、アート系のアカウントをよく見る。

興味関心： いろんな所へ自分から積極的に足を運ぶ。気になったお店があったら1人でも気にせずに入る。

行動の特徴/スマホとの関わり方： 自分にとって居心地が良い場所、人といることが好き。プライベートと仕事の境目は特にない。自然の中にいたり、家の中で観葉植物を眺めていると癒される。温かいコミュニティや、同じ価値観を持ったクリエイターと話すことが好き。

顕在化している課題： 地域で仲良くなってみんなで子育てができるような関係性が欲しい。もう少し自然に近い場所に引っ越すことができると心地よく暮らせると考えている。

島本町で暮らすことでの理想状態： 自然に近い場所に住むことで、日常的に豊かな暮らしをする。近所に住んでいる人、店員さんたちと心地よい関係性になって、助け合えるような関係性を築きたい。

顕在化していない潜在的な課題： 引っ越しを予定している先で人に出会う機会がない。

島本町に魅力を感じてくれる人は…

「日常的に自然と触れながら、都会近くで暮らしたい」子育て世代の夫婦

働き尽くしだった20代。30代は夫と猫と自分のペースでゆっくり働き、暮らしたい。自然と触れ合える田舎がいいけれど、まだまだ京都の友達にも会いたいし、実家にも月に一度は帰りたい。かといって都会に住むのは疲れてしまった。将来は夫と二人で小さなお店を開いて、自分と似た感性の人と出会いたい。さあ、どんなことをしよう。そんな時に、島本町を見つけました。

- ✓ 自分の機嫌を取る方法を自分でよく理解しており、自然と触れ合うことが一番の癒し
- ✓ 将来、子どもと自然の中でのびのび遊ぶことを楽しみにしている
- ✓ 身近に自然がありつつ、便利さもほどよく備わった“今の暮らしを無理に変えないバランスのよい生活”を求めている。
- ✓ 人に出会うことが好きで「こと起こし」や「場づくり」を意識せずとも行い、地域のハブになっている

魅力の言語化

島本町は、

「日常的に自然と触れながら、都会近くで暮らしたい」
子育て世代の夫婦

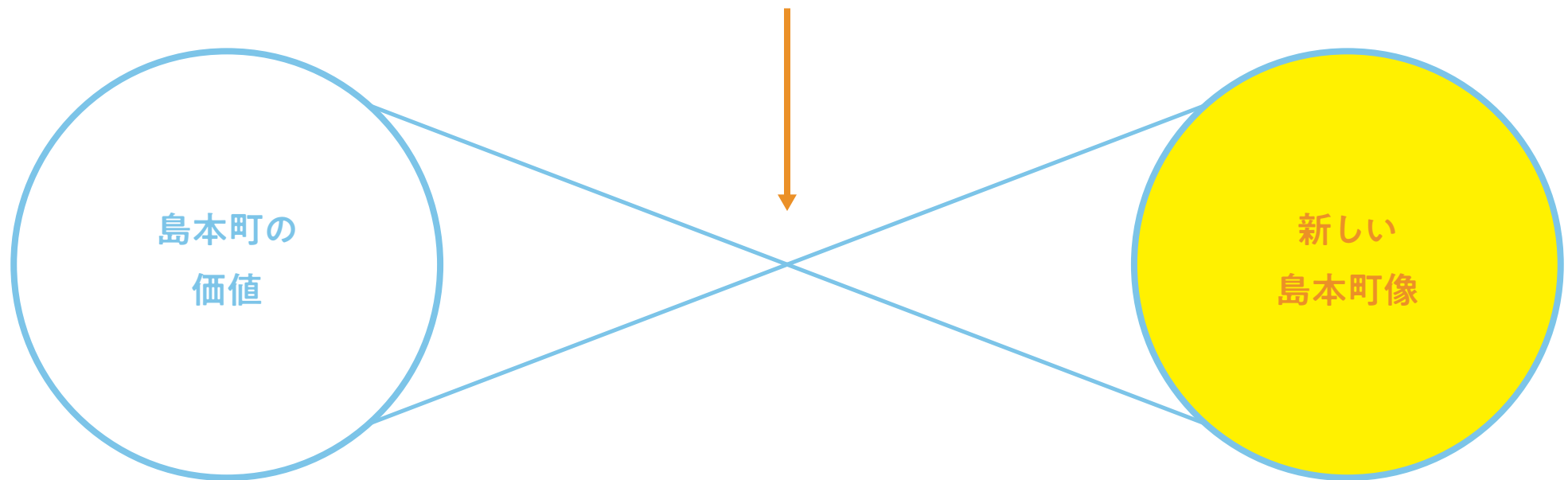


に
世代を超えて、
愛着を感じながら住み続けられる新しい居場所

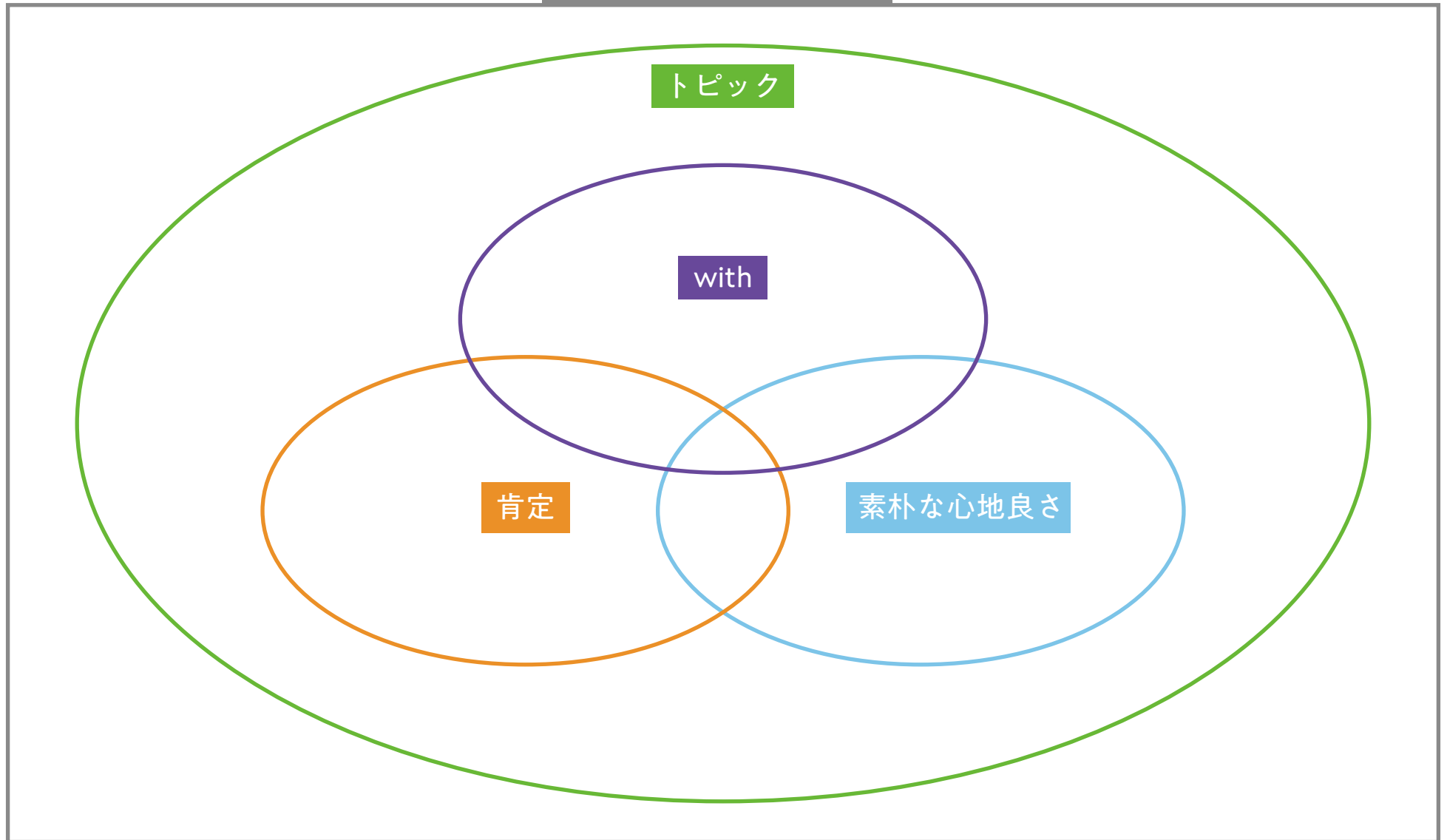
を提供する。



- ①withの姿勢：小さいからこそできる寄り添う姿勢
- ②肯定の姿勢：「島本町って良いよね」
- ③素朴な心地よさ：島本町の空気感を伝える



資本、資産、環境（背景）



資本、資産、環境（背景）

サントリー山崎蒸溜所	離宮の水	水無瀬川沿いのホテル	水無瀬川沿いの桜並木	関大明神社	若山神社 ツブラジイ
水無瀬神宮(後鳥羽上皇)	乙女の滝			山崎の大カーブ	サントリー天然水の森
水無瀬の滝					府境
若山神社					
尺代の 集落					若山神社の紅葉
山吹溪谷	尺代あまご ます釣り場				谷崎潤一郎 「蘆刈」の舞台
樹齢800年以上 「大沢のスギ」		西国街道		史跡桜井駅跡 史跡公園	公家、武士に納められた 「水無瀬駒」・中将棋

トピック

ジャパニーズ
ウイスキー発祥の地

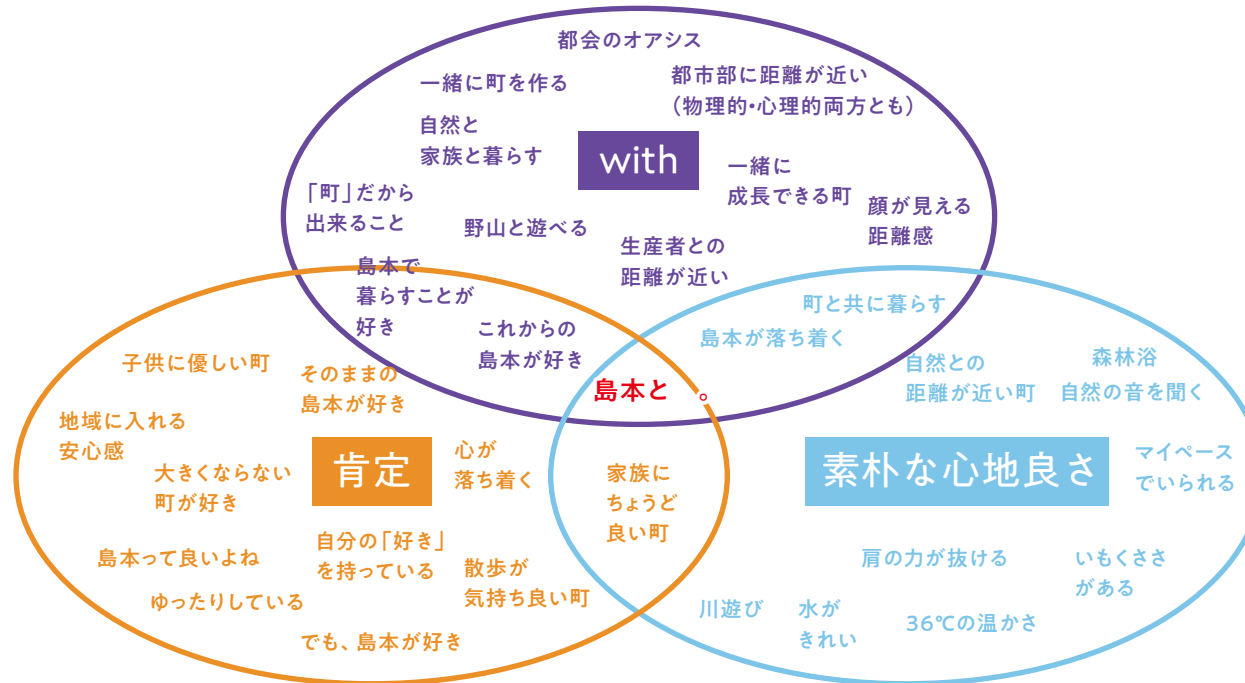
JR島本駅西地区の
区画整理事業→
令和5年以降順次完成

町内の水道の9割は
地下水を活用

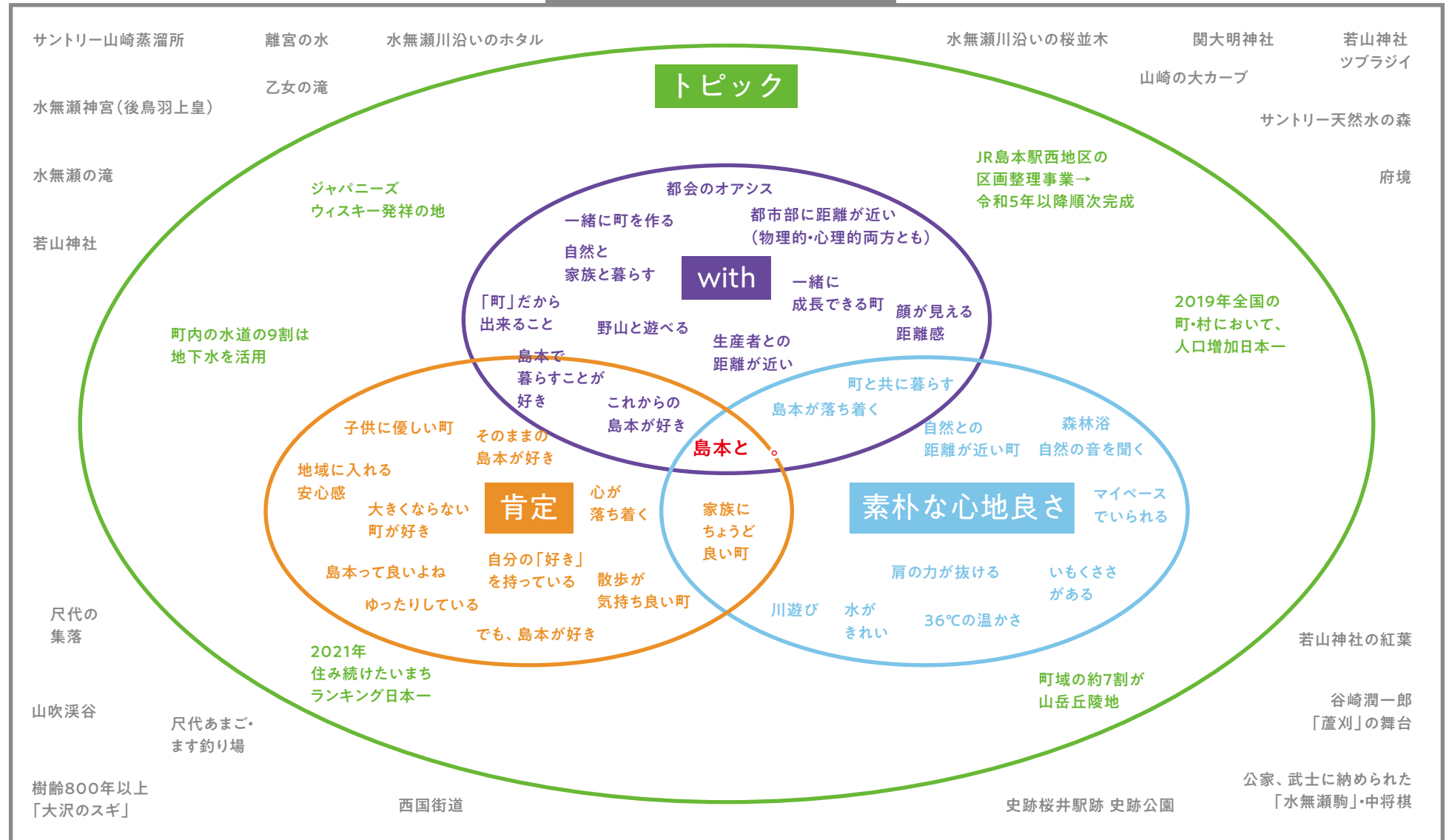
2019年全国の
町・村において、
人口増加日本一

2021年
住み続けたいまち
ランキング日本一

町域の約7割が
山岳丘陵地



資本、資産、環境（背景）



島本と。

島本町に帰りたと思ったのは、

目に見えるところに緑があったから。

誰とも比べなくても、良かったから。

良いことばかりじゃ無いし、

もしかしたら

ここよりも自然が素敵で

都会にも出やすい町があるかもしれない。

でも、

わたしは島本がいい。

帰ってきてから思った。

島本とわたしは、やっぱり相性良いみたい。



島本町に帰りたいと思ったのは、
目に見えるところに緑があったから。
誰とも比べなくても、良かったから。

良いことばかりじゃ無いし、
もしかしたら
ここよりも自然が素敵で
都会にも出やすい町があるかもしれない。

でも、
わたしは島本がいい。

帰ってきてから思った。
島本とわたしは、やっぱり相性良いみたい。

島本と。

事業者及び、一部職員用フォント

職員用フォント

名称	A1 ゴシック	秀英アンチック	セザンヌ	游ゴシック
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・写植をベースにして作られたクラシックなフォント。手書きの温かい雰囲気を残し、完璧すぎない「抜け感」がある。 ・角がなく、昔からそこにあったような懐かしさを感じさせる。 ・ゴシックの中でも唯一無二。似ている形が無い。視認性と独自性のバランスが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・格式高い歴史、文化を表現する。 ・少し使う場面を選んでしまうことがネック。 →メインタイトルに使用するとデザインが締まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・しなやかさ、真の強さを清潔感を持ちながら表現する。 ・使う場面を選ばない。本文に使うと読みやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書にも使用される親しみと懐かしさを感じさせるフォント。 ・使う場面を選ばず使用できる。
使用イメージ	<p>島本と 。</p> <p>島本町に帰りたと思ったのは、 目に見えるところに縁があったから。 誰とも比べなくても、良かったから。</p> <p>良いことばかりじゃ無いし、 もしかしたら ここよりも自然が素敵で 都会にも出やすい町があるかもしれない。</p> <p>でも、 わたしは島本がいい。</p> <p>帰ってきてから思った。 島本とわたしは、やっぱり相性良いみたい。</p>	<p>島本と 。</p> <p>島本町に帰りたと思ったのは、 目に見えるところに縁があったから。 誰とも比べなくても、良かったから。</p> <p>良いことばかりじゃ無いし、 もしかしたら ここよりも自然が素敵で 都会にも出やすい町があるかもしれない。</p> <p>でも、 わたしは島本がいい。</p> <p>帰ってきてから思った。 島本とわたしは、やっぱり相性良いみたい。</p>	<p>島本と 。</p> <p>島本町に帰りたと思ったのは、 目に見えるところに縁があったから。 誰とも比べなくても、良かったから。</p> <p>良いことばかりじゃ無いし、 もしかしたら ここよりも自然が素敵で 都会にも出やすい町があるかもしれない。</p> <p>でも、 わたしは島本がいい。</p> <p>帰ってきてから思った。 島本とわたしは、やっぱり相性良いみたい。</p>	<p>島本と 。</p> <p>島本町に帰りたと思ったのは、 目に見えるところに縁があったから。 誰とも比べなくても、良かったから。</p> <p>良いことばかりじゃ無いし、 もしかしたら ここよりも自然が素敵で 都会にも出やすい町があるかもしれない。</p> <p>でも、 わたしは島本がいい。</p> <p>帰ってきてから思った。 島本とわたしは、やっぱり相性良いみたい。</p>

メインカラー1：琥珀色



C=5% M=53% Y=88% K=0%
R=234% G=144% B=38%

島本町の魅力は、熱過ぎず、冷め過ぎず、常温の人の温かさが1番の魅力。そんないろんな人の温かさが混ざり合ったイメージを、深みを持った色合いの「琥珀色」で表現しました。

この「琥珀色」はウイスキーの色を表現するときにも使う色で、ジャパニーズウイスキー発祥の地のイメージも表現しています。

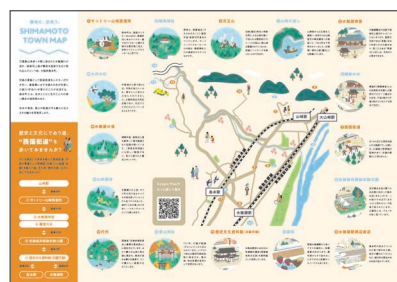
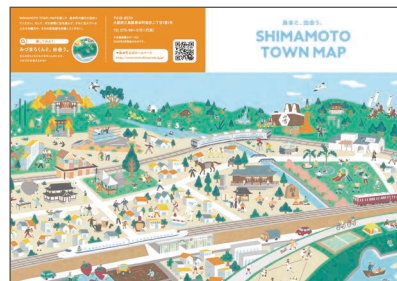
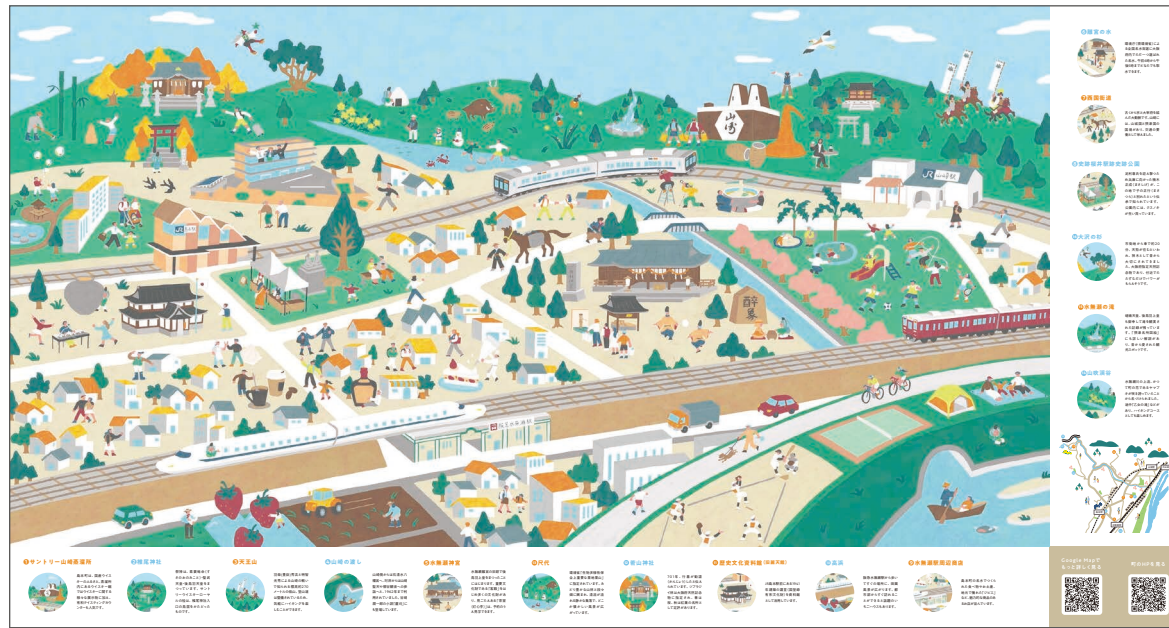
メインカラー2：水縹色



C=52% M=7% Y=4% K=0%
R=124% G=195% B=232%

「水縹」は、藍染の中でも薄い色で、明るい青色のこと。万葉集にも水色のことを「水縹（みはなだ）」と記載されており、古くより親しまれてきた日本の伝統色。

昔から変わらず島本町の自然が守り続けてきた水の清らかさを「水縹」で表現しました。





島本町は、

「日常的に自然と触れながら、都会近くで暮らしたい」
子育て世代の夫婦

に

世代を超えて、

愛着を感じながら住み続けられる新しい居場所

を提供する。



島本と。

島本町に帰りたいと思ったのは、
目に見えるところに緑があったから。
誰とも比べなくても、良かったから。

良いことばかりじゃ無いし、
もしかしたら
ここよりも自然が素敵で
都会にも出やすい町があるかもしれない。

でも、
わたしは島本がいい。

帰ってきてから思った。
島本とわたしは、やっぱり相性良いみたい。

島本と。

島本町に帰りたいと思ったのは、
目に見えるところに緑があったから。
誰とも比べなくても、良かったから。

良いことばかりじゃ無いし、
もしかしたら

ここよりも自然が素敵で
都会にも出やすい町があるかもしれない。

でも、
わたしは島本がいい。

帰ってきてから思った。
島本とわたしは、やっぱり相性良いみたい。

事業者及び、一部職員用フォント

職員用フォント

A1 ゴシック | 秀英アンチック | セザンヌ | 游ゴシック

メインカラー1：琥珀色

C=5% M=53% Y=88% K=0%
R=234% G=144% B=38%

メインカラー2：水縹色

C=52% M=7% Y=4% K=0%
R=124% G=195% B=232%